VISIONARY

VISIONARY ｜ ビジョナリー学習塾 大学受験部

高校部保護者会

AIの時代に、大学受験で何を身につけるか

2026年11月1日（日）



AGENDA

今日のお話

01 **これからの世界**
AIの時代に大事になる力

02 **大学入試で問われる力**
そして、入試を通して身につく力

03 **学年ごとのいま**
高1・高2・高3は、いまどんな時期か

04 **合格した先輩たち**
一人ひとりは、どんな生徒だったのか

05 **冬期講習と大学受験部の取り組み**
学年ごとの冬期講習と、塾でやっていること

06 **親としての向き合い方**
自立を促し、一人の大人として話を聞く。

自己紹介

小川誉高

いまの担当

ビジョナリー学習塾
高校部 教室長

いちばん嬉しい瞬間

教え子が、対等な目線で話せる大人になる瞬間

経歴など

- 兵庫県出身。須磨学園高校 → 明治大学 政治経済学部
- 中学から大学まで陸上漬け。「文武両道」がモットー
- 受験勉強を始めたのは高3の11月。京都大学は不合格
- 大学卒業後、2つの学校で8年間 高校教員
- 世界史を担当。後半4年間は理系最上位層の担任
- この塾に来て10月で2年になりました。
- 誰にも理解されないですが、趣味は国際ニュース鑑賞

はじめに

自己紹介をお願いします

① **お名前**

② **お子さまの学年**

③ **ご家庭での学習で気になっていること**

例：家で何をしているかわからない／計画的に勉強できていない

はじめに

今回の保護者会の目的

1



激動の世界で、どんな力が必要なのかを共に考える

2



お子様がいま何をしておくべきなのかを把握する

3



親として、お子様にどう関わるべきなのかを考える

01 ｜ これからの世界

AIは我々から何を奪うのか？

人間がやるべきことって何？



01 ｜ これからの世界

AIの進化は、人類から何を奪っているのか？

01

**人間がPCの上でしている作業は、
だいたいAIができるようになった**

02

**人間がすべきだった「思考」すら、
AIがほとんど代替可能**

その先にあるのは、自分自身の固有性＝アイデンティティの喪失

自分は、何のためにこの世界にいるのか？

01 ｜ これからの世界

問われるのは、
自分にしか生み出せない
価値は何か。



小川の考え：これから大事になる3つ



人間的魅力

「この人ならついていきたい」「推したい」と思わせる人間性



物語（ナラティブ）

同じようなことをしている人の中で、なぜその人が選ばれるのか



専門性

PCを見ずに、自分の言葉で語ることができる人の凄み

01 ｜ これからの世界

では、どうすれば身につくのか

1 

人間的魅力：他の人と、直接コミュニケーションをとる

Zoomではなく、その場にいることが生み出す「磁場」の力

2 

物語（ナラティブ）：自分の物語を意識して、いろいろな場に飛び込む

誰かに決めてもらうのではなく、自分で人生の針路を決める決断力

3 

専門性：デバイスではなく、自分自身の頭に知識を蓄える

AIを使えば、学ぶことのハードルはむしろ大きく下がった

では、この塾が果たすべき役割とは

コミュニケーション	授業の中で、自分が何を考えているのかを口に出す。 それを即座にフィードバックして修正 **→ 予備校にはない、個別指導塾としての強み**
ナラティブ	塾長 武川による「夢教育」 **→ 今後さらに具体化し、生徒が将来を考える機会をたくさん作っていく**
専門性	定期テストや大学入試に向けた学習 **→ AIで定期テストや入試を分析し、問題演習の質を上げる**

02 ｜大学入試で問われる力

大学入試で問われる力

これからの大学入試に向けて何を身につけるべきなのか？



02 ｜ 大学入試で問われる力

まずは、大学入試の制度をおさらい

一般選抜



学力による試験。一般的に想像する大学入試

総合型選抜（旧AO入試）



将来やりたいことと、その大学でやっていることの相性を、さまざまな形の試験で見る

学校推薦型選抜



評定平均など高校までの努力・結果を中心に、大学との相性を面接・小論文などで見る

指定校推薦



高校と大学の信頼関係をもとに、大学が高校に入学枠を提供。校内選考を勝ち取れば、99.9%その大学に入学できる

02 ｜ 大学入試で問われる力

総合型選抜は「自分の考えを作る力」を見る

お茶の水女子大学 新フンボルト入試（文系）

1. 大学のゼミを受講して、レポートを書く
2. 図書館の資料を自由に使って、課題レポートを書く
3. グループ討論と面接

慶應義塾大学 法学部 FIT入試（A方式）

1. 大学の模擬講義を受ける（50分）
2. 講義をふまえて論述する（45分・2,240字以内）
3. 教員からの口頭試問に答える

AIに聞けば答えが出る時代に、資料を集め、議論し、自分の意見を作れるかが問われている

出典：お茶の水女子大学「令和9年度 総合型選抜 学生募集要項」、慶應義塾大学「2026年度FIT入試 第2次選考概要（A方式）」

02 ｜ 大学入試で問われる力

それでも、入学者の半分前後は一般選抜

大学	一般	総合	公募	指定	付属	他
駒澤	63.4%	9.0%	0.0%	16.5%	10.3%	0.9%
青山学院	62.8%	3.6%	0.3%	21.8%	9.6%	2.0%
法政	62.6%	3.2%	0.0%	20.1%	12.7%	1.5%
専修	59.0%	0.7%	2.1%	21.0%	10.1%	7.1%
早稲田	58.7%	4.7%	0.0%	17.7%	16.9%	1.9%
芝浦工業	56.0%	6.1%	0.0%	29.1%	7.7%	1.1%
東京都市	55.7%	12.2%	3.9%	27.2%	1.0%	0.1%
國學院	52.0%	18.7%	0.0%	17.6%	7.8%	3.8%

大学	一般	総合	公募	指定	付属	他
立教※	51.7%	7.2%	41.0%	—	—	—
学習院	51.7%	0.9%	5.2%	31.2%	9.7%	1.4%
上智	50.6%	10.0%	18.9%	13.7%	0.6%	6.2%
中央	49.9%	7.4%	0.0%	23.7%	17.0%	1.9%
武蔵	48.3%	16.3%	0.0%	34.5%	0.2%	0.7%
東洋	45.7%	6.7%	15.9%	20.2%	4.6%	7.0%
日本	43.8%	9.0%	2.3%	11.0%	27.5%	6.5%
工学院	41.7%	10.9%	0.0%	43.3%	3.6%	0.6%

※立教の「公募」欄は総合型以外の推薦等の合計　出典：旺文社『2026年度用 大学の真の実力 情報公開BOOK』

02 ｜ 大学入試で問われる力

大学受験を通して、身につく力

01



計画を立てて、実行する力

PDCAを自分で回せるようになる

02



自分の課題と向き合い、修正する力

できないことから目をそらさない

03



数字から分析する力

模試や過去問の結果が、数字で返ってくる

実感として、多くの高校生が大学受験を通して大きく成長します

シェアタイム

ここまでの話を聞いて、お子様にぜひ身につけてほしい力はどんなものでしょうか。



これからの時代に必要な力とは何か。
考えたことを、ぜひシェアしてください

03 ｜ 学年ごとのいま — 高1

高校1年生：これから1年間は試練の時

中だるみ？現実を知ったことによる失速？



03 ｜ 学年ごとのいま — 高1

ここからの1年は、中だるみしやすい時期



なぜ難しいのか

- 目標が立てにくい。大学を自分ごととして考えにくい
- 学校に慣れて「これくらいでなんとかなるでしょ」となりがち

裏を返せば、何にでも挑戦できる時期

- 部活動、ボランティア、アルバイト、遊び、ゲーム。なんでもいい
- 一つを極めても、いろいろ試してもいい
- 「語れるもの」を作ることが大事（小川の実感）

03 ｜ 学年ごとのいま — 高1

進路の方向性は、なんとなく決めておく

どの入試形態で行くか

一般選抜か、総合型・学校推薦か、指定校か。
→ 評定平均が必要になるかどうかが決まる

どのくらいの大学を目指せるか

文理選択はほぼ終わり、模試も何度か受けているはず。多くの学校で進研模試は7月・11月・1月

理系は、学部を早めに

学部によって必要な教科が変わる。来年の科目選択にも関わる

難関大を目指すなら、今から

進学校の生徒は高1からビシバシやっている。できれば全統模試（河合塾）で相対的な位置を知っておく

03 ｜ 学年ごとのいま — 高1

英語の基礎は、高2までに叩き込む

文系・理系 共通

英語の基礎

どの入試でも土台になる

理系

数学の基礎も

学校のテストは入試より簡単。ここで点が取れないと、理系は非常に苦しい

文系

言語文化のテスト対策

学校の古文・漢文のテストをきちんとやっておく

英検　できれば今年度中に準2級に合格。英語が得意な生徒は、2級もどんどん目指しましょう

03 ｜ 学年ごとのいま — 高2

高2の3学期は、「高校3年0学期」。

大学入試が始まる



03 ｜ 学年ごとのいま — 高2

進路と入試形態を決めておく

どんな大学・学部を受けるのか

総合型・指定校を狙う場合も、
一般選抜の対策は並行する

- 推薦入試のチャンスは基本1回（多くても2回）
- 推薦入試は宝くじ。受かったらラッキーの気持ちで

総合型/学校推薦型を目指すなら

- 自己分析と志望校分析を少しずつ始める
- 本を読み、その内容を聞かれたりレポートを書いたりする大学が多い。本を読む訓練が必要（特に文系）
- 来年の夏には受験が始まる。夏休みには入試対策に入っておく

03 ｜ 学年ごとのいま — 高2

入試に向けた勉強を、本格的に始める

高3からでは、時間が足りない

特に苦手な教科ほど時間がかかる

入試科目をはっきりさせる

遅くとも、この時期までに

まずは、やるべきことの棚卸しから

- どの教科に、どれくらい力を入れるべきか
- 高1の内容をやり直すべきか
- 学校の進度に合わせるか、先に進むか

03 ｜ 学年ごとのいま — 高2

社会・理科と英検

社会・理科

- 11月頃の模試から試験科目に入る
- 本当はここで圧倒的な優位を作るのがベスト。以降は範囲が広がり、点が取りにくくなる
- まずは学校のテストで点が取れる状態に。学校でやった内容を定着させて高3へ

英検

- 2級に合格しておきたい。できれば高3の夏までに
- 英語が得意な生徒は、高3で準1級
- MARCHレベル以上の合格者は、（小川の体感として）1/3〜半分ほどが準1級を持っているのでは

03 ｜ 学年ごとのいま — 高3

高校3年生：ひたすら問題演習

入試に向けてやるべきことを着実にやりましょう



高3：ひたすら入試に向けて問題演習

推薦入試

9〜10月　多くの大学で総合型選抜の選考

10〜11月　学校推薦型選抜の選考

一般選抜メインの生徒

10〜11月　受験校と戦略を決めてしまう

それ以降　志望校に向けた対策をひたすら

高2のお子さんにとっては1年後、高1のお子さんにとっては2年後の姿です

04 ｜ 合格した先輩たち

合格した生徒たちは、どんな生徒だったのか？



04 ｜ 合格した先輩たち

立教大学 社会学部 合格　K.Tさん



入塾	高2の冬。自分から勉強することはほぼなく、学校の成績も良くなかった
戦略	英語と日本史の2科目。英検準1級を取得し、入試の得点換算に活用
転機	高3の夏、自分から机に向かうように。毎週のプランニングで内容を明確にし、授業後は必ず自習

この先輩から学べること

苦手への対策も大切。でもまずは、他の受験生に差をつけられる「武器」を作る

「合格した一番の理由は、始めた時期だと思います」

出典：ビジョナリー学習塾 合格者インタビュー（visionary-entry.com）

04 ｜ 合格した先輩たち

青山学院大学 経済学部 合格　N.Kさん



結果	青山学院・法政・専修の3校すべてに合格
道のり	勉強習慣が定着したのは高3の7月前。英語長文の手応えは高3の11月ごろ。本人いわく「遅咲き」
支え	講師から「伸びるのは直前かもしれない」と聞いていたので、結果が出ない時期も続けられた
いま	本塾の講師として在籍。大学でも学習習慣を続け、テストや資格試験に向けて勉強中

この先輩から学べること

結果が出ない時期も、講師の言葉を信じて粘り強くやり続ける

「毎週の学習スケジュールの設定と、それに対するFBを受けていく中で、努力することが苦じゃなくなりました」

出典：ビジョナリー学習塾 合格者インタビュー（visionary-entry.com）

04 ｜ 合格した先輩たち

筑波大学 人文・文化学群 合格　S.Kさん



入塾	高3、部活を引退してから
当時	高校受験でつまずき、受験そのものに強い苦手意識があった
塾で	毎日塾に来て講師と話すことで、モチベーションを保ち続けた
結果	共テ利用で明治・立教にも合格。筑波は前期不合格、後期で合格
いま	長期休みに帰省したタイミングで、本塾の講師として指導

この先輩から学べること

国公立志望なら、後期まで頑張り切る

「この塾の先生たちのおかげでメンタルを安定させたまま大学受験に臨めたのが何よりもよかったです」

出典：ビジョナリー学習塾 合格者インタビュー（visionary-entry.com）

シェアタイム

お子様はいま、どんな課題を抱えているでしょうか。

あと約半年で、どうなっていると理想的か。
そのために、親としてできることは何か。
考えたことを、ぜひシェアしてください



05 ｜ 冬期講習

冬期講習で、何をするのか。

3学期に走り出すための穴埋め。
内容は生徒ごとに設計します



期間

12/21（月）～
1/7（木）

お申し込み締切

11/20（金）

05 ｜ 冬期講習 — 高3

高3：問題演習とチェックの繰り返し

11月中

出願校・日程をほぼ決定

いまは9割方決まっている状態。受験校はだいたい5〜10校

1月16日（土）・17日（日）

共通テスト

共テ利用で、滑り止めを決めてしまいたい

1月末から

私立大の一般選抜

冬期講習は、そこに向けた演習とチェックの繰り返し

保護者の方へ：合格発表と入学金の振込期限が重なることがあります。期限の確認をお願いします

05 ｜ 冬期講習 — 高2

高2：ここから受験勉強のスタート



高3の背中を見る

1年後の自分たちは、こういう状態になっている。それを嫌がるのではなく、楽しみにできるか

最優先：英検

まだ取れていない生徒は、まず英検合格を目指す

模試で結果を残す

定期テストだけでなく模試で。全統記述模試（河合塾）は1月24日（日）、進研模試も学校で1月頃

主要教科の基礎固め

文系なら英語・国語、理系なら英語・数学。高3に入るまでに基礎を固める

高1：英検と、学校内容の先取り



01

英検準2級を取る

高1のうちに、準2級は取れるようにしておきたい

02

3学期のテストで評定を上げる

3学期のテストは、1回の重みが1・2学期の2倍。評定平均を考えるうえで特に大事

03

学校の内容を先取りする

テストに向けて何度も演習。数学は単元が変わると別物なので、今までできなくても挽回のチャンスは必ずある

05 ｜ 大学受験部の取り組み

ビジョナリー学習塾の大学受験部は、何をしているのか。



大学受験部が一番大事にしていること

01



目標を設定する

どの大学・学部を目指すのか

02



必要なことを逆算する

その大学に向けて、何が必要か

03



月間・週間のタスクに落とし込む

今月、今週、何をやるのか

「いま何をやるべきか」を、一人ひとり明確にする

05 ｜ 大学受験部の取り組み

大学受験を通して、身につく力

01



計画を立てて、実行する力

PDCAを自分で回せるようになる

02



自分の課題と向き合い、修正する力

できないことから目をそらさない

03



数字から分析する力

模試や過去問の結果が、数字で返ってくる

実感として、多くの高校生が大学受験を通して大きく成長します

入試対策に強い講師と教材

01

- 小川だけでなく、大学入試対策が中心の講師が数名在籍しています
- 入試用の参考書・赤本もたくさん置いています



土日も自習室を開放

02

- 授業のない日も、まとまった時間の自習ができます



大学入試対策講座

03

- 10月から、土曜または日曜に高3生を対象に実施しています
- 1学期には、英語・国語の2科目でプレ講座も実施しました



英検対策講座

04

- 日曜の夜を中心に実施しています
- 高1は準2級、高2は2級、英語が得意な生徒は準1級が目標です



05 ｜ 大学受験部の取り組み

1on1コーチングでやっていること

週1回 50分

01 学習計画の立案と、進捗の確認を1対1で

02 理解度を、小テストや口頭で確認

03 分からないところや、悩んでいることを回収

04 進路について考え、入試戦略を検討

毎週50分、1対1で話す価値

生徒が

何が分かっていて、何が分からないのかを自分の言葉で話す

→ その結果

メタ認知能力が上がる。自分が何を考えているのかを、客観的に認識できるようになる

講師が

1人の担当者が継続して関わり、性格や考え方を深く理解する

→ その結果

その生徒に合った進路指導・提案ができる

3学期・春期講習から、塾長によるガイダンス

セルフマネジメント



目標設定・勉強法・モチベーション管理

受験生として、そして社会人になったときにも必要な力を身につける

進路



将来の夢・目標を考える

なりたい職業だけでなく、そもそも自分は何に興味があるのかから見直し、自分にとって理想の人生を考える

06 ｜ 親としての向き合い方

高校生の子どもと、どう向き合うか。

自立を促すこと、そして一人の大人として話を聞くこと



06 ｜ 親としての向き合い方

できるだけ、自分のことは自分でさせる

急には自立できない

今まで自立できていなかった子が、急に自立することはできない。少しずつ段階を踏むことが必要

入試の書類はルールに厳格

少しでも遅れたり漏れたりするとアウト。それでも、基本は自分で用意させることが大事

声かけの例

「最終チェックは◯日にするから、それまでに自分で用意しなさい」

任せきりにせず、確認の日だけ決めておく

06 ｜ 親としての向き合い方

一人の大人として、対等に話を聞く

形だけ聞いても、伝わってしまう

難しいことではあるが、聞く「ふり」は子どもにすぐ見抜かれる

自分とは別の人間として認める

学校生活や友人との関わりの中で、子どもは親とは別の世界を持っている

価値観に注目して掘り下げる

何をしたかより、「どういう価値観を持っているのか」に目を向ける

一方で、家庭の一員としての責任も

家庭という小さな社会を、一緒に運営する責任を意識してもらう

06 ｜ 親としての向き合い方

勉強の管理は塾に任せて、ご家庭では見守る。

計画と振り返りは、私たちが毎週一緒に行います



まとめ

今日お伝えしたこと

1 激動の世界で必要なのは、人間的魅力・物語・専門性

2 高1は英検と評定、高2は3学期から受験生

3 自立を促し、一人の大人として話を聞く

個別のご相談も、本日この後お受けします

VISIONARY

VISIONARY ｜ ビジョナリー学習塾 大学受験部

ご質問をどうぞ

本日はありがとうございました。

アンケートにご協力ください

スマートフォンで読み取ってください